

知的障がい教育 数学科 授業構想

平成26年10月10日（金）5校時

1 単元名 製作の計画を立てよう

2 教材観

本単元では、生活単元学習における製作の計画を取り扱い、製作物の寸法の測定や製作数に合わせた材料の見積もりを行う計算などの必然性のある具体的な活動を通して、直接的な数量的経験ができるようにする。生活単元学習のテーマに向かう一連の活動の中で取り扱うことによって目的意識や意欲を持って主体的に活動に取り組む生徒の姿を願う。

3 生徒の実態

『学び合い』を取り入れ、全員が分かるまで関わり合う授業を行ってきたことにより、学習場面でも生活場面でもよく協力し合う関係ができています。

4 本時について

(1) 本時の学習 製作物の採寸・材料の見積もり「測定と計算」

(2) 本時のねらい

- ①完成品の寸法の測定を行い、材料の必要量を求めることができる。
- ②協力して材料の選定を行い、必要な材料を確認することができる。

(3) 本時におけるわかる生徒の姿

主体的に測定と計算や、材料の選定に取り組み、製作の計画を立てることができる。

(4) 展開構想 ○→主な学習活動 ・→(予想される)生徒の反応

学びのステップ	学習内容と予想される生徒の反応	指導上の留意点	かやり合いの形態
導入	○課題と学習材の確認 ・手元の調査票と注文書を確認する。	拡大調査票と注文票の掲示	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 学習課題 材料と必要量を決めて注文書を書こう！ </div>			
第1ステップ	○完成品の寸法を測定する。 ・記入に戸惑い、学び合いを始める。	3回測定で測定結果に自信を持たせるようにする。	個人 ペア
第2ステップ	○必要な材料を決める。 ・仲間と確認し合いながら材料を決定していく。 ○計算の仕方を確認する。学び合う。	全員が関わり合いながら確認できるように声をかける。 ②観察 「わかった！」の山場(14:15まで)	グループ
ラストステップ	○材料ごとに必要な量を計算する。 ・計算し注文書に記入する。 ・計算部分を板書	①注文書への記入	個人